

GALLERY KOYANAGI

PRESS RELEASE

ギャラリー小柳 展覧会のご案内
HIROSHI SUGIMOTO | Past Presence
2020.3.14 (Sat) – 4.25 (Sat)



報道関係者各位

平素よりお世話になっております。

この度、ギャラリー小柳では3月14日（土）から4月25日（土）の会期で、杉本博司の個展『Past Presence』を開催いたします。ギャラリー小柳での個展は、2014年以来6年ぶりとなります。

本展では、国内初公開となる「Past Presence」シリーズから新作4点を展示いたします。本シリーズでは、杉本の長年のテーマである時間と歴史を20世紀のモダン・マスターズの作品群によって探求しています。ジャコメッティ、ブランクーシ、ピカソ、マグリットなど、それぞれの作品を写した写真は彼の「建築」シリーズと同様に、無限の二倍の焦点（twice as infinity）で撮影されています。意図的にぼかされた写真はアーティストの理想的なフォルムや、脳内で発想されたイメージそのままの姿を浮かび上がらせ、私たちはそのなかに無意識のうちに馴染みのあるかたちを見出そうとします。杉本の表現はこのように私たちの視覚的記憶を呼び起こし、イメージとはどのように記憶されているのか——イメージは正確な記憶として想起されるのか——杉本は見る者に作品を取り巻くディテールを取り除き、作品本来の概念や本質を顧みるよう投げかけます。

杉本博司は1948年東京生まれ。1970年渡米、1974年よりニューヨーク在住。活動分野は、写真、彫刻、インスタレーション、演劇、建築、造園、執筆、料理と多岐に渡り、世界のアートシーンにおいて地位を確立してきました。杉本のアートは歴史と存在の一過性をテーマとし、そこには経験主義と形而上学の知見をもって、西洋と東洋との狭間に観念の橋渡しをしようとする意図があり、時間の性質、人間の知覚、意識の起源を探求しています。世界的に高く評価されてきた作品は、メトロポリタン美術館（ニューヨーク）やポンピドゥ・センター（パリ）など世界有数の美術館に収蔵されています。代表作に「海景」、「劇場」、「建築」シリーズなど。2008年に建築設計事務所「新素材研究所」を設立、IZU PHOTO MUSEUM (2009)、MOA美術館改装（2017）などを手掛けています。2009年には公益財団法人小田原文化財団を設立し、2017年10月には構想から10年の歳月をかけ建設された文化施設「小田原文化財団江之浦測候所」をオープンしました。

なお、京都市京セラ美術館では「杉本博司 瑠璃の浄土」が3月21日（土）より、細見美術館でも4月4日（土）より「飄々表具 —杉本博司の表具表現世界—」が開催予定です。また、4月23日（木）から始まる森美術館でのグループ展「STARS展：現代美術のスターたち——日本から世界へ」にも参加いたします。あわせてご高覧頂ければ幸いです。

資料および図版のご依頼は担当者までご連絡ください。ご掲載際にはご一報いただけますよう宜しくお願い申し上げます。

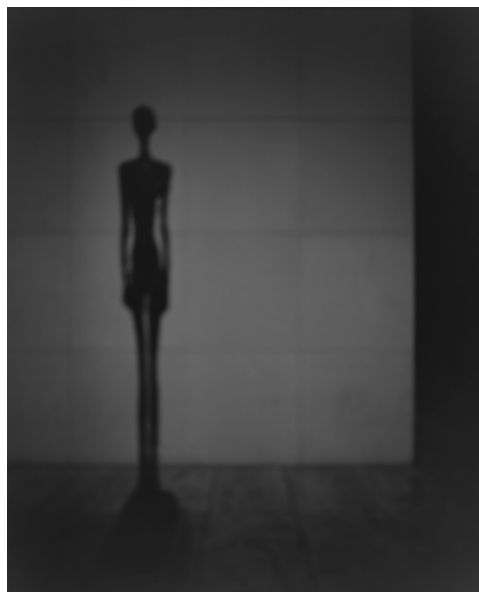
ギャラリー小柳

Past Presence

2013年、MoMAからの彫刻庭園撮影のコミッションが来た。フィリップ・ジョンソンの設計になるこの彫刻庭園には、モダニズム彫刻の名作が並べられている。私は「建築」シリーズのコンセプトに準拠して彫刻庭園の撮影に臨む事にした。数ある名彫刻の中で、まず私の眼を引いたのはジャコメッティの彫刻だった。その研ぎすまされたフォルムは、人間の肉体から肉の部分を削ぎ落して、さらに残るもののみを、極限の状態を表すことに成功しているように思われた。私は私の写真によるアプローチが、すでにジャコメッティの彫刻においては成就されているのではないのかと、思わざるを得なかった。私はこのジャコメッティの彫刻に二度カメラを向けてみた。昼日中の白日の時、そして夕暮れ時の薄明の時。私は能舞台上に現われる、二人の人物像を思った。能舞台では死者の魂が復活して現われる様を描く。前シテと呼ばれる前半では、土地の者が死者の変わり身となって、死に至った無念の情を述べる。そして後シテの後半では、その死者の亡霊が再び現われ、成仏できずにいる苦渋の舞を舞う、という設定だ。演劇のうちに死者の姿を垣間みる、そのリアリティーがどれほどのものであるかは、演技の迫真力とともに、鑑賞者の心眼の力量にも負う所が多い。私はジャコメッティを写しながら、能舞台を見る心持ちがした。能舞台では過去が今として (Past Presence) として蘇るからだ。私はこのジャコメッティからの啓示を得て、次々に他の作品群にも挑んでいった。

杉本博司

【広報用図版】



キャプション：

Hiroshi Sugimoto

Past Presence 001, Tall Figure, III, Alberto Giacometti
2013

gelatin silver print

クレジットライン：

© Hiroshi Sugimoto / Courtesy of Gallery Koyanagi,

depicted artwork © Succession Alberto Giacometti (Fondation Giacometti, Paris + ADAGP, Paris) 2020

【展覧会概要】

展覧会名：HIROSHI SUGIMOTO | Past Presence

会期：2020年3月14日（土）～4月25日（土）

開廊時間：11:00～19:00

休廊日：日・月・祝祭日

会場：ギャラリー小柳 東京都中央区銀座 1-7-5 小柳ビル 9F

Tel: 03-3561-1896 Fax: 03-3563-3236

交通：東京メトロ有楽町線 銀座一丁目駅 7番出口より徒歩1分

丸ノ内線・銀座線・日比谷線 銀座駅 A-9出口より徒歩5分

URL：<http://www.gallerykoyanagi.com>

お問い合わせ：ギャラリー小柳 電話 03-3561-1896 | メールアドレス mail@gallerykoyanagi.com

*新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の状況によっては、開催時期・内容等を変更する場合がございます。その際は、ギャラリー小柳のウェブサイトにてご案内いたします。

【杉本博司：展覧会情報】

展覧会名：杉本博司 瑠璃の浄土

会期：2020年3月21日（土）～6月14日（日）

会場：京都市京セラ美術館 新館「東山キューブ」
京都市左京区岡崎円勝寺町 124

URL：<https://kyotocity-kyocera.museum>

展覧会名：飄々表具 —杉本博司の表具表現世界—

会期：2020年4月4日（土）～6月21日（日）

会場：細見美術館

京都市左京区岡崎最勝寺町 6-3

URL：<https://www.emuseum.or.jp/index.html>

展覧会名：STARS 展：現代美術のスターたち——日本から世界へ

会期：2020年4月23日（木）～9月6日（日）

会場：森美術館

東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

URL：<https://www.mori.art.museum/jp/>